

2018 年度事業計画書

自 2018 年 4 月 1 日

至 2019 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本音楽財団

1. 方針

本年度も、当財団が保有する楽器（ストラディヴァリウス 19 挺、ガエルネリ・デル・ジェス 2 挺、計 21 挺）の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及を行うために、次の柱を置いて事業を推進する。

公益目的事業名：楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及

- (1) 楽器保全
- (2) 楽器貸与
- (3) 演奏会開催
- (4) 音楽文化振興・普及のための助成
- (5) その他

2. 事業計画

(1) 楽器保全事業

当財団の保有する世界の文化遺産ともいわれる弦楽器名器の保守保全については、次世代に継承する管理者の責務として、定期的な保守・保全に努める。

1 年以上貸与する演奏家には、貸与中の楽器について当財団指定楽器商での年 4 回の定期点検を義務付ける。うち 1 回は、当財団の楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル (Andrew Hill) 氏のコンディション・チェックとする。

ワシントン条約 (CITES) の規制によりアメリカ合衆国での通関ができない事例があるため、すべての保有楽器に対して、当財団の指定楽器商である Koestler shop (在ドイツ) に依頼し、ワシントン条約 (CITES) 適用除外証明書を発給し、楽器貸与者には楽器と共に常に携帯させる。

なお、当財団が保有し貸与している楽器は、製作後 300 年以上経過していることから、大規模な修理が必要な楽器が出てきており、ヒル氏による定期点検により大規模修理が必要と判断された楽器については、同氏の助言を受けつつ順次修理を行うこととし、本年度も引き続き大規模修理に備え、特定費用準備資金 (大規模楽器修理) を積立てる。

また、万一の事故に備え、本年度も引き続き楽器への保険を付保するほか、国際的に活躍する貸与者の通関手続きがスムーズに行われるように、すべての保有楽器に ATA カルネを発給する。

本年度は保有する楽器の故事来歴等をまとめ、写真と共にウェブ等に掲載することとする。

(2) 楽器貸与事業

当財団では保有するストラディヴァリウス等の弦楽器を、国籍を問わず一流の演奏家や若手有望演奏家に無償で貸与しており、本年度も、貸与希望者を一般公募し、現在の貸与者を含めた申請を審議するため、欧・米・アジアの有識者で構成された楽器貸与委員会を開

催す。同委員会は 1994 年以降、毎年 1 回開催しており、本年度はヨーロッパでの開催を予定。

楽器貸与委員会による貸与者決定の例外として、1997 年度から継続的にベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝者に次回開催までの期間、ストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス」を貸与している。現在、2015 年優勝者の Ji Young Lim に 2019 年 5 月まで貸与中であり、同委員会において審議する対象楽器は、21 挺保有のうち 20 挺となる。

(3) 演奏会開催事業

楽器貸与者による演奏会を国内外で開催し、多くの人々が名器の音色に触れ、音楽を楽しむ機会を提供することにより、クラシック音楽の普及振興に努める。本年度は下記のとおり 12 公演を開催する。

1)～5)演奏会の定期開催

集客力を高めるための一つの有効な方法と考えていた演奏会の定期開催を 2017 年度より関東近郊都市及び愛知県にて開始した。毎年同時期、定期的に演奏会を開催することで、クラシック音楽ファンに当財団の演奏会開催予定をかなり前に知らせることができるようになるため、集客力の向上につながることを期待できる他、楽器貸与者による質の高い演奏を継続的に提供する機会を設けることで財団の活動の周知及び音楽文化の振興普及に努める。

1) 浦安市との共同コンサート

首都圏における質の高い演奏会を定期的に開催し、当財団のブランド力と認知度を定着させることを目的に、昨年度より「浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ」として浦安市との共同で開催している。2016 年 12 月の浦安市との協定締結*に基づき、双方が保有する音楽資源を有効活用し、チケット売上全額を「浦安市芸術振興基金」として積立てることで、演奏会を定期的に開催できる環境作りを推進し、音楽文化の振興普及に努める。

*①浦安市の音楽ホールを利用し楽器貸与者による演奏会を開催すること、②入場料の全額を浦安市に寄付し、市民の文化芸術活動の普及振興を目的とした基金に積み立てること、③浦安市教育委員会の正規事業として浦安市内の学生を対象としたレクチャーコンサートを開催すること等を定めた。

1)名称	スヴェトリン・ルセフ ヴァイオリン・リサイタル 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol.2
日程	2018 年 4 月 18 日(水)19:00 開演
会場	浦安音楽ホール(千葉県浦安市) (300 席)
主催	浦安市教育委員会、(公財)日本音楽財団
共催	浦安音楽ホール
助成	(公財)日本財団、(公財)朝日新聞文化財団
出演	Svetlin Roussev Stradivarius 1710 Violin "Camposelice" 使用 上田 晴子 ピアノ

チケット販売 全席 6,000 円
チケット売上全額を「浦安市文化芸術振興基金」へ積立てる。

2)～5) 名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業
日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 4～6)

東海地方を代表するオーケストラである名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同で定期的な演奏会を開催することで、東海地方での当財団の活動周知を推進し、音楽文化の振興普及に努める。

昨年度よりスタートした本事業では、当財団楽器貸与者が毎年同時期に「ストラディヴァリウス月間」と称し、数ヶ月にわたり 3～4 公演を名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演する。愛知県は全国的にも音楽を学ぶ学生が多く、こうした学生を招待することで公益性を図り、芸術性の観点からも、楽器貸与者とオーケストラの双方のレベルの向上を期待して本事業を推進する。当財団の経費負担は、主にストラディヴァリウス貸与者の出演旅費等とする。

本年度は下記のとおり、4 公演に当財団の楽器貸与者 4 名の出演協力を予定する。

- 2) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 4 「ロード・ニューランズ & フォイアマン」
第 65 回市民会館名曲シリーズ<ベートーヴェン・ツィクルス X>
- 日 程 2019 年 1 月 10 日(木) 18:45 開演
- 会 場 日本特殊陶業市民会館フォレストホール (愛知県名古屋市) (2,291 席)
- 主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 特別協力 (公財)日本音楽財団
- 助 成 (公財)日本財団
- 指 揮 小泉 和裕(名フィル音楽監督)
- 出 演 Su Yoen Kim Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands”使用
石坂 団十郎 Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”使用
田村 響 ピアノ
- 3)・4) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 5 「ドラゴネッティ」
第 465 回定期演奏会<レム「ソラリス」>
- 日 程 2019 年 2 月 22 日(金) 18:45 開演
2019 年 2 月 23 日(土) 16:00 開演
- 会 場 愛知県芸術劇場コンサートホール (愛知県名古屋市) (1,800 席)
- 主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 共 催 名古屋市
- 特別協力 (公財)日本音楽財団
- 助 成 (公財)日本財団
- 指 揮 アントニ・ヴィット(Antoni Wit)
- 出 演 Veronika Eberle Stradivarius 1700 Violin “Dragonetti”使用

5) 名 称	日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 6 「エンゲルマン」 平日午後のオーケストラ Vol.3	
日 程	2019 年 3 月 13 日(水)14:00 開演	
会 場	日本特殊陶業市民会館フォレストホール (愛知県名古屋市) (2,291 席)	
主 催	(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団	
特別協力	(公財)日本音楽財団	
助 成	(公財)日本財団	
指 揮	円光寺 雅彦	
出 演	Benjamin Beilman	Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用

6)・7) 新しいファン層拡大

生のクラシック音楽を聴く機会が少ない学生を対象に実施してきた「青少年によるレクチャーコンサート」は今年で 8 年目を迎える。昨年度より教育委員会の正規事業と位置づけることを条件とすることで、より一層開催地の市町村との協力関係強化を図りながら、青少年期に質の高いクラシック音楽に触れる機会を提供することで、将来のクラシック音楽ファンや演奏家の育成にもつながる聴衆層の拡大によるクラシック音楽の振興普及に努める。

6) 北九州市でのレクチャーコンサート

2013 年度より 2015 年度までの 3 年にわたって開催してきたレクチャーコンサートが非常にレベルの高い音楽教育事業であると北九州市に評価され、2017 年度より北九州市教育委員会の正規事業として開催することとなった。

名 称	青少年のためのレクチャーコンサート
日 程	調整中
会 場	調整中
主 催	(公財)日本音楽財団、北九州市(福岡県)
助 成	(公財)日本財団
出 演	調整中

7) 浦安市でのレクチャーコンサート

2016 年 12 月に浦安市と締結した協定に基づく「浦安市文化芸術振興基金」への積立額が相応の額に達するまでの 3 年間、基金の今後の事業モデルとして当財団の負担でのレクチャーコンサートを浦安市教育委員会の正規事業として開催することとしており、昨年度に続き 2 年目の開催となる。

名 称	青少年のためのレクチャーコンサート
日 程	調整中
会 場	浦安音楽ホール(千葉県浦安市) (300 席)
主 催	浦安市、浦安市教育委員会、(公財)日本音楽財団
助 成	(公財)日本財団
出 演	調整中

8)～10) 楽器貸与事業の周知広報

東京近郊都市及び地方都市発信の当財団のコンサートを本年度は上記のとおり 7 公演開催するが、東京においては、より効果的な当財団の楽器貸与事業の周知広報のため、政財界のオピニオンリーダー等有識者を対象としたコンサートを 3 公演開催する。

- 8) 名称 Svetlin Roussev ヴァイオリン・リサイタル
日程 2018年4月17日(火)18:00レセプション 19:00開演
会場 浜離宮朝日ホール(東京) (550席)
主催 (公財)日本音楽財団
助成 (公財)日本財団
出演 Svetlin Roussev Stradivarius 1710 Violin "Camposelice"使用
上田 晴子 ピアノ
- 9) 名称 Quartetto di Cremona & 小菅 優 コンサート (仮称)
日程 2018年7月2日(月)18:00レセプション 19:00開演
会場 浜離宮朝日ホール(東京) (550席)
主催 (公財)日本音楽財団
助成 (公財)日本財団
出演 Quartetto di Cremona Stradivarius "Paganini Quartet"使用
Cristiano Gualco Stradivarius 1727 Violin "Paganini"使用
Paolo Andreoli Stradivarius 1680 Violin "Paganini"使用
Simone Gramaglia Stradivarius 1731 Viola "Paganini"使用
Giovanni Scaglione Stradivarius 1736 Cello "Paganini"使用
小菅 優 ピアノ
- 10) 名称 Stradivarius 1735 Violin "Samazeuilh" 初披露演奏会 (仮称)
日程 調整中
会場 調整中
主催 (公財)日本音楽財団
助成 (公財)日本財団
出演 調整中 Stradivarius 1735 Violin "Samazeuilh"使用

11)・12) 日本財団との共同事業

日本財団との共同で、国内外でのコンサート等の開催及び当財団の楽器貸与者等の招聘に関連した業務に協力する。

11) 日本財団との共同事業 1

1948年に「世界人権宣言」が国連で採決されてから70周年を迎えるのを記念し、下記の演奏会を日本財団との共同で開催する。

名 称 世界人権宣言 70 周年記念「ストラディヴァリウス・コンサート 2018」
 (Encounter with Stradivari 2018 – In commemoration of the 70th anniversary
 of the Universal Declaration of Human Rights)
 日 程 2018 年 6 月 16 日(土) 18:30～20:30
 会 場 国際連合欧州本部 Palais des Nations, Assembly Hall
 (スイス・ジュネーヴ) (1,000 席)
 主 催 (公財) 日本財団、国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR)
 協 力 (公財) 日本音楽財団
 出 演 楽器貸与者 7 名とピアニスト 1 名
 Quartetto di Cremona Stradivarius “Paganini Quartet”使用
 Cristiano Gualco Stradivarius 1727 Violin “Paganini”使用
 Paolo Andreoli Stradivarius 1680 Violin “Paganini”使用
 Simone Gramaglia Stradivarius 1731 Viola “Paganini”使用
 Giovanni Scaglione Stradivarius 1736 Cello “Paganini”使用
 Svetlin Roussev Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”使用
 諏訪内 晶子 Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”使用
 Arabella Miho Steinbacher Stradivarius 1716 Violin “Booth”使用
 占部 由美子 ピアノ

名 称 ジュネーヴ日本大使公邸での演奏会
 日 程 2018 年 6 月 14 日(木) 時間調整中
 会 場 日本大使公邸(スイス・ジュネーヴ)
 主 催 (公財) 日本財団
 協 力 (公財) 日本音楽財団
 出 演 楽器貸与者 6 名とピアニスト 1 名
 Quartetto di Cremona Stradivarius “Paganini Quartet”使用
 Cristiano Gualco Stradivarius 1727 Violin “Paganini”使用
 Paolo Andreoli Stradivarius 1680 Violin “Paganini”使用
 Simone Gramaglia Stradivarius 1731 Viola “Paganini”使用
 Giovanni Scaglione Stradivarius 1736 Cello “Paganini”使用
 諏訪内 晶子 Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”使用
 Arabella Miho Steinbacher Stradivarius 1716 Violin “Booth”使用
 占部 由美子 ピアノ

12) 日本財団との共同事業 2

日本財団の寄付金事業からの支援金を得て、下記のコンサートを日本財団との共催により開催する。本事業は、日本財団の公益目的事業の一つである「海洋船舶関係事業」における次世代の人間の英知と勇気を育成するため「海」について深く考える機会を提供する活動の一環として開催される。

日本財団との連携の下、音楽を切り口とした寄付文化の普及・拡大に貢献するため、当財団の保有するトップクラスの弦楽器名器とその貸与者による質の高い演奏を行う。

名 称	日本財団と共催による「海に想いを寄せる、クルーズ船上ストラディヴァリウスヴァイオリン演奏会」(仮称)
日 程	2018年7月23日(月) (1時間程度を予定。開演時間調整中。)
会 場	横浜港寄港予定の「飛鳥 II」船内ステージ付会場 (神奈川県横浜市) (412席)
主 催	(公財)日本財団、(公財)日本音楽財団
出 演	有希・マヌエラ・ヤンケ Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用 林 絵里 ピアノ Mr.Ward (タイタニック号音楽隊末裔/元 WWFUK 会長)
招 待	横浜市及び渋谷区の青少年と保護者 約 150 組

(4) 音楽文化振興・普及のための助成事業

公益活動を行っている団体が実施する事業を募集し、外部有識者で構成される当財団の事業運営委員会により審議の上、支援する事業を8事業程度決定する。

本年度も①演奏会のパートナー(共催者)の育成と、②若手演奏家の育成の2本の柱で募集を行い、募集内容については前年度中に当財団のホームページ上で公開。

また、積極的に当財団の楽器貸与者の出演に協力し、事業の質の向上を図る。

(5) その他

以上